

施策名：変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

事業名	担当課・室名	ページ
女性の地域活動活性化支援事業	社会教育課	1 / 2
外国人とのコミュニケーション拡大事業	社会教育課	1 / 2
おおいた学びのステップアップ支援事業	社会教育課	1 / 2
学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業	社会教育課	2 / 2
森林環境学習促進事業	社会教育課	2 / 2

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(7)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
1	女性の地域活動活性化支援事業 (R2 ~ R4) 社会教育課 多様化する地域課題を住民主体で解決する仕組みをつくるため、地域づくりの実践に関する研修会の開催や女性リーダーの育成など、女性団体の活動の充実に向けた取組を支援する。	①地域活動活性化モデル事業 ・国東市地域婦人団体連合会による「ごみ削減やリサイクル推進」の取組支援 ・姫島村婦人会による「郷土料理の伝承や新メニュー開発」の取組支援 ・取組を周知するためのリーフレットの作成、配付(2,500部) ②地域活動活性化研修会 講演会及び3分科会を実施(参集150人、Web158人) ③地域活動活性化実践交流会 講演会及びモデル地域2地域の実践発表(紙面及びWeb開催。参集開催は新型コロナウイルスの影響により中止。)	① 1,405 ③ 861	地域活動に取り組んだ活動事例数 [団体]	目標値	2	6	10	A		
			② 1,053 ④		実績値	2	6	—			
			主な活動指標と達成率		達成率	100.0%	100.0%	—			
			研修会等に参加した人数		目標値	540	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 地域婦人会が他団体や学校等と連携して実施する、環境保全や伝統継承などをテーマにした地域課題解決活動において、大学教授等のアドバイザー派遣や、実践交流会のWeb配信などにより、取組改善や活動促進を図った。活動地域や団体が増加したことで組織の活性化や地域活動の充実に繋がった。 今後は、モデル地域を交え女性リーダーの育成や地域課題解決の仕組みづくりをさらに促進していく。				
			[人]		実績値	582					
		達成率	107.8%								
		目標値									
予算額 (うち翌年度繰越額) 3,319 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 3,319 (0)		目標値 実績値 達成率							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
2	外国人とのコミュニケーション拡大事業 (R2 ~ R4) 社会教育課 多文化共生社会を実現するため、外国人に対して「迅速に、正確に、簡潔に」情報を伝える「やさしい日本語」に関する学習会や講座をモデル地区(別府市・中津市)を中心に開催する。	①「やさしい日本語」の県内への普及 ・講演会開催(大分・佐伯市:96名参加) ・リーフレット作成 ②モデル地域での学習内容の深化及び指導者の育成 ・地域住民向け学習会(49名参加) ・行政職員向け研修会(21名参加) ・普及に向けた企画を協議する会議(延べ87名参加) ③「やさしい日本語」の学習成果の活用と実践活動例の紹介 ・「やさしい日本語」を活用した外国人との交流(延べ104名参加) ・「やさしい日本語」の活用例に関する動画の制作・公開(学習会等に参加した日本人9名、外国人7名が出演)	① 600 ③ 422	学習会参加者の意識変容率 [%]	目標値	60.0	70.0	80.0	A		
			② 525 ④		実績値	79.5	85.1	—			
			主な活動指標と達成率		達成率	132.5%	121.6%	—			
			学習会の平均参加率		目標値	70.0	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 「やさしい日本語」の普及や公民館等での交流活動の具体例の提示を通じて、地域住民の、外国人と積極的に交流しようとする意識の向上を図ることができた。 今後は、全県への学習機会の普及を図るとともに、地域に「やさしい日本語」を普及させる人材を育成し、活躍できる機会を創出していく。				
			[%]		実績値	71.7					
		達成率	102.4%								
		目標値									
予算額 (うち翌年度繰越額) 2,306 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 1,547 (0)		目標値 実績値 達成率							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価		
3	おおいた学びのステップアップ支援事業 (R3 ~ R5) 社会教育課 高校中退者等の学び直しを支援するため、退職教員等による学習相談の窓口を設置するとともに、関係機関による連携体制を構築する。	①学びのステップアップアドバイザー 退職教員等の地域人材による、高等学校中退者等の学び直しや高卒認定試験合格に向けた学習相談・支援の実施 ・利用者の延べ人数…学習相談23人、学習支援79人 ・高卒認定…受験者3名、合格者3名 ②学びのステップアップ協議会開催(3回) 県教委、県知事部局、ハローワーク等が連携し、高卒認定試験を必要とする方の現状等の情報共有や支援方法の検討を実施 ・高校中退者等に対し、高卒認定試験合格を目指した学習支援及び進路相談を実施することについて周知を図るチラシを作成・配布(コンビニ等に13,000部配布)	① 2,516 ③	学習相談・進路相談の登録者数 [人]	目標値		50	75	D		
			② 437 ④		実績値		27	—			
			主な活動指標と達成率		達成率		54.0%	—			
			学習相談(支援を含む)の実施回数		目標値	90	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コンビニ等へのチラシの配布、広報番組等により利用促進を図ったものの、利用者が目標の半分程度にとどまった。 今後は、おおいた地域若者サポートステーション等の就労支援機関、高等学校、フリースクール及び社会福祉協議会等に対して事業説明を行い、学び直しに対する理解を促し、利用希望者に直接情報が届くよう連携を深めていく。 また、大分市以外の方が相談しやすくなるよう、新たにオンライン指導を開始することで、利用者の増加を図る。				
			[回]		実績値	102					
		達成率	113.3%								
		目標値									
予算額 (うち翌年度繰越額) 2,953 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 2,953 (933)		目標値 実績値 達成率							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和3年度実績【施策コード：Ⅲ-1-(7)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
4	学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業 (R2 ~ R4) 社会教育課 子どもや学校を取り巻く課題の複雑化・困難化に社会全体で対応するため、「協育」ネットワークとコミュニティ・スクールとの連携を図り、地域学校協働活動を推進する。	①「協育」ネットワークの拡充 ・小学生チャレンジ教室（実施教室数：136教室） 地域住民が体験活動支援や宿題の見守りなどを行う、子どもの安全・安心な居場所づくり ・未来創生塾（実施教室数：139教室） 地域住民等による英語等の学習支援	①	35,920	③	「協育」ネットワークの取組に参加する地域住民の数 [人]	目標値	108,000	108,500	109,000	D
			②	9,026	④		実績値	104,080	84,872	—	
			②「協育」ネットワークとコミュニティ・スクールの連携・協働の促進 ・地域学校協働活動を実施（12市64校区で実施） 地域人材による学習支援、キャリア教育支援や学校と地域が協働した活動の実施 ・「地域学校協働活動推進員」モデル事業（5市13地域で実施） ・地域学校協働活動推進員の配置による、放課後教室開設等の地域の学校との連携・協働の促進		主な活動指標と達成率		達成率	96.4%	78.2%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 68,405 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 44,946 (22,375)		地域学校協働活動の実施件数 [件]	目標値 17,000 実績値 9,965 達成率 58.6%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新型コロナウイルス感染防止対策による学校における教育活動の制限及び放課後活動等の中止に伴い、地域学校協働活動の実施件数が減少し取組が停滞したが、感染防止対策を徹底しながら地域の感染状況に応じて可能な限り地域学校協働活動を実施した。 令和4年度は、モデル地域（5市）の取組を、研修及び協議会等での実践発表や事例集等を通じて県内全域に発信し、地域学校協働活動の拡充を図っていく。				

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	評価	
5	森林環境学習促進事業 (H24 ~) 社会教育課 森林環境学習を推進するため、指導者の養成と児童・生徒への学習機会の提供を行う。また、子どもたちの体力・運動能力と木への親近感を高めるため、青少年の家等での運動・遊びを通じた体験活動を実施し、幼児期から木や森の魅力を体感できる機会の拡充を図る。	①「森で遊ぼう」自然環境での運動（遊び）推進事業 ・生き活き自然体験キャンプ（2回実施、参加者40名） ・大人も子どもも空中体験（3回実施、参加者50名）	①	2,669	③	森林環境学習の参加人数 [人]	目標値	4,270	5,730	5,830	A
			②	1,455	④		実績値	2,749	6,545	—	
			②幼児期からの環境学習に関する学習機会の提供 ・緑の探検隊（2回実施、参加者29名） ・緑の楽校（2回実施、参加者23名） ・緑の子ども園（2回実施、参加者26名） ・森林の環境学習サポート隊（4回実施、参加者394名）		主な活動指標と達成率		達成率	64.4%	114.2%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 4,963 (0)		決算額 (うち国庫支出金) 4,410 (0)		森林環境学習の実施回数 [回]	目標値 38 実績値 22 達成率 57.9%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 幼児向けアスレチックの導入や「森で遊ぼう」自然環境での運動（遊び）推進事業の充実により、森林環境学習への参加者が大幅に増加した。 令和4年度も引き続き、「緑の子ども園」など青少年の家を活用した幼児及び児童生徒の体験活動を推進するとともに、森林の環境学習サポート隊を積極的に広報し、コロナ禍で減少した自然体験活動や環境学習活動等の参加者の増加を図る。				
		③森林環境学習指導者の養成及び資質向上 ・スキルアップセミナー（3回実施 参加者34名） ・緑の環境学習指導者養成研修会（2回実施、参加者32名）		新規の指導者の養成数 [人]		目標値 5 実績値 5 達成率 100.0%					